

令和3年度第1回社会教育委員会議定例会（第31期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和3年度第1回社会教育委員会議定例会（第31期）		
開催日時	令和3年4月26日（月曜日）午後3時30分～午後5時40分		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601 講習室		
出席状況	委員	10人：伊藤委員、今宮委員、大澤委員、久津間委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員、三好委員	
	関係各課	5人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部こども・青少年課長	
	事務局	3人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由			
審議又は検討経過及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）開会</p> <p>（2）報告事項</p> <p> 1）令和3年度社会教育関係の主要な事業について</p> <p>（3）協議事項</p> <p> 1）令和3年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p> 2）令和3年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p> 3）令和3年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p> 4）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>（4）その他</p> <p>（5）閉会</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><事務局から配布資料の確認></p> <p><議長あいさつ></p> <p><関係各課紹介></p> <p><報告事項></p> <p>「1）令和3年度社会教育関係の主要な事業」について担当課より報告（議長）担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたい。</p> <p>（委員）今年度の公民館費が昨年度より111,450,000円増えているが、つきみ野学習センターの大規模改修が主な理由か。</p> <p>（市）そのとおり。</p> <p>（委員）昨年度と比較して予算の増減があるものについて説明してほしい。</p> <p>（市）図書館費の増額についてはネットワーク回線使用料等である。余暇活動推進費のうちスポーツ・よか・みどり財団に委託している「文化芸術事業」の見直しを行い、400万円程の減額となっている。</p>		

文化振興費は今年度歴史シンポジウムを実施することが増額の理由としては大きい。

<協議事項>

「1) 令和3年度社会教育関係団体への補助金」について、担当課より説明。

(議 長) 事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

(委 員) 新型コロナウイルスによるイベントの中止等により余った市補助金は、返還するのではなく、次年度に回すことはできないのか。

(市) 各団体に支出している補助金は、その年度における団体活動に対する事務経費、組織運営のための経費である。よって、実施されていない事業の不用額については特別会計等に入れて将来のために使用することはできない。

(委 員) 青少年指導員の人数が足りていないと聞いたのだが、現在の状況はどうなっているのか。

(市) 青少年指導員の定数は、市内全域で120名である。任期は2年で、令和3年度は任期の2年目にあたる。令和2年の時点では107名であった。あくまでも120名は最大であり、人数が不足することで事業が滞ってしまうという事は無いが、その分一人一人の負担は大きくなっている。また、任期2年目となる令和3年の現時点では、さらに12名減って95名となっている。地域により不足人数にも差があり、担当課としては人数を充足させたいと考えている。ただし、青少年指導員は自治会から地域で信頼のある方を推薦していただいております、誰でもいいというわけではない。人数を確保するための方法を今後検討していきたい。

(委 員) 公募することはできないのか。

(市) 選択肢の一つではあるが、既存の青少年指導員とのバランス等もあるため、中長期的に対策を講じていきたい。

(議 長) 社会教育関係4団体については、予算や補助金の中から各地区活動団体へ分担金が流れていると思うが、その内容を事務局は把握しているのか。把握していないとすれば、イベントの中止等で使わなかった分を貯蓄している可能性もあるのではないのか。

(市) それぞれの団体で地区活動費として再分配される金額については事業報告を確認し、精査している。昨年度分に関しては、実施しなかった事業分の補助金について戻入金額を積算している。

(議 長) 大和市PTA連絡協議会(以下、市P連)決算書の欄外を見ると、県P負担金の一部返金額が記載されており、おそらく市P連に返金されていると思うが、決算書の中のどこにその金額が入っているのか分からないので、確認しておいてほしい。

(市) 承知した。

(委 員) 市P連の決算書を見ると、活動費の予算で新型コロナウイルス関係の消耗品を購入しているようだが、本来の目的とは違うのではないのか。

(議 長) 先ほど事務局から、活動費から支出するという記載になっているのはおかしいので、市P連に対して予備費への書き直しを指導したと説明があった。

(議 長) 他に質問は無いのか。無ければ今年度の社会教育団体への補助金に

ついて承認してよいか。

(委員) 異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2) 令和3年度社会教育委員会議から選出する委員」について、事務局より説明。第31期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

- ① 生涯学習振興基金審査委員 (任期1年: 令和3年6月1日～)
- ② 青少年問題協議会委員 (任期2年: 令和2年6月1日～) …丸田委員
- ③ 子ども読書活動推進会議委員 (任期3年: 令和3年6月1日～)
- ④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事 (任期1年: 令和3年6月1日～)
- ⑤ 文化創造拠点等運営審議会委員 (任期2年: 令和2年9月1日～)
…齋藤(正)委員

「3) 令和3年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より説明。第31期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

- ① 県社会教育委員連絡協議会総会 : 全員
※新型コロナウイルスの影響で、参加人数を制限する可能性あり
- ② 県社会教育委員連絡協議会研修会
- ③ 社会教育委員連絡会議
- ④ 知ることからはじめる人権啓発研修講座
- ⑤ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (横須賀市)
- ⑥ 県公民館連絡協議会第63回県公民館大会
- ⑦ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (秦野市)

「4) 家庭教育支援に関する事業」について、図書・学び交流課の社会教育主事より説明。

(市) 前回までの書面会議にて、次年度(次期)も社会教育委員会議の活動として、引き続き家庭教育支援をテーマに活動していく旨ご検討いただき、新型コロナウイルス感染症の終息の条件付で承認いただいた。

前回は実施時期を10月または11月としていたが、感染状況、ワクチン接種の状況等から開催を秋以降とたく、今回の資料では11月開催とさせていただいた。状況が変われば昨年度と同様に中止することも考えられる。

なお、これまでの会議では会場を南部開催ということでご承認いただいていたが、前回2月の書面会議の中で、次は北部ではないかとの意見もあったので、本日は対象とする会場や、事業中止を判断する時期についても再度協議いただきたい。

講師は4月末現在未調整のため、一昨年と同様に佐々木洋さんへ依頼または、自然に関する同等の知識・経験を有する方(社会教育委員の中山さんなど)に講師をお願いする予定である。本日の会議で決定次第、講師調整を行っていく。

今後は、感染状況をみながら会場確保と講師調整を行い、夏頃の受講者募集に向けて進めていく予定である。

本日の会議で令和3年度の家庭教育支援事業の企画内容を決定したいと思うので、ご意見をいただきたい。

(議 長) 時期については、コロナが収束することを願って11月に実施するというだけでよいか。

(委 員) 異議なし。

(議 長) 場所については、1回目を草柳、2回目を柳橋で実施し、次が3回目である。次は南部で実施する想定であったが、前回の会議で委員の方から、2回目の柳橋を南部とすると、順番として次は北部ではないかという意見が出た。皆さんのご意見を聞きたい。

(委 員) 北部であれば、つるま自然の森や、つきみ野1号公園などがある。自然を解説するわけではないので、自然が多くあるところよりも、近所の公園のような親子のコミュニケーションが取れる場所の方がよいのではないか。

(議 長) 私個人の考えだが、家庭教育支援については、いつまでも社会教育委員と行政の社会教育主事で引っ張っていくとは考えていない。市内の団体に継続してやっていただけるようにしていきたい。ただやってもらえばいいということではなく、継続するにはどうしたらよいかを考えていきたい。そこで、まずは下福田地区の活性化会議にお願いするというのはどうか。

(委 員) 活性化会議の方々を巻き込むのはとてもよいと思うが、下福田地区限定なのか。

(議 長) まずは下福田地区の活性化会議の方々と一緒に実施し、その成果を他の地域の活性化会議に発表してもらい、全体に広げていきたいと考えている。厚木市でも、家庭教育支援をまず1つの公民館で行い、その成果を発表して広げていったという実例があるので、同じような手法を取りたい。そのような形で、大和市内で活性化会議をベースとした家庭教育支援の講座が継続的にできるようになればとよいと考えている。

(委 員) 社会教育委員が長くやるというよりも、市民団体に賛同していただき、引き継いでいくということは理想だと思うので、賛成である。

(議 長) 今回の家庭教育支援については、下福田の活性化会議にまず話をもっていくということでよいか。

(委 員) 異議なし。

(委 員) 去年はコロナの影響で活性化会議を一度もできなかったのが不安はあるが、良い案だと思う。実施場所や手法については今後検討していく。

(市) 話の方向としては、まず大澤委員を通して相談をさせていただく。活性化会議としては今年度の計画があると思うので、プラスアルファとして事業の提案をしていきたい。活性化会議の方々には、参加者募集などをお願いしたい。また、活性化会議の事務局であるこども・青少年課を通じて会長にもお願いをしていきたい。

	<p><その他></p> <p>次回の日程について</p> <p>(市) 次回開催については、教育長にも出席いただき、第 32 期の委嘱式を行う。日程は 7 月 1 日 (木)、2 日 (金)、5 日 (月)、6 日 (火) のいずれかで後日調整させていただく。場所は、生涯学習センター601 講習室で行う。</p> <p>今期で任期満了の方のご挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今宮委員、尾辻委員 (欠席のため事務局代読)、久津間委員、三好委員 <p>以上で議事を終わる。</p> <p><閉会></p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度社会教育関係の主要な事業 ・令和 3 年度社会教育関係団体への補助金 ・社会教育関係団体の令和 2 年度事業報告・決算報告 (4 団体)、令和 3 年度事業計画・予算 (4 団体) ・令和 3 年度社会教育委員会議から選出する委員 ・令和 3 年度社会教育委員に関する研修会等 ・家庭教育支援に関する事業